

サイエンスカンファレンス 2025 参加／発表体験報告記

(1) 発表者情報

①氏 名:平山瑛美

②学校／学年:沖縄カトリック高校二年

③指導教員名:大瀧丈二

(2) 発表タイトル

オオゴマダラとその擬態種の翅における背景黄色領域の発現メカニズム

(3) サイエンスカンファレンス体験報告

参加／発表や人との交流を通して得た体験や学びに関して、以下の項目について報告してください。

①「自分が一番大切だと感じたこと」

発表前の準備をしっかりとすることが一番大切だと感じた。友人や学校の先生方に練習相手になってもらったり、質問に答える練習を重ねたりすることで、本番であまり緊張しなくなった。また、質問にも自分なりにしっかりと答えることができたと思う。

②参加前後で「自分が新たに理解したこと」や「自分の考えや理解で変化したこと」

これまでこうした発表会は緊張するし、「質問に答えることができなかったらどうしよう」などと不安に思っていたため、あまりいい印象は持っていなかった。今回も直前になって「行きたくないな」と考えてしまうこともあった。しかし、実際にサイエンスカンファレンスに参加してみて審査員の先生方や他の受講生の方などからのコメント・質問を通して、自分の研究を客観的に見つめ直すことができた。また、他の受講生の発表を聞くことで、学べるものがたくさんあり、大きな刺激にもなったため、参加して本当によかったと感じている。こうした機会をくださった方々には、心から感謝している。

③上記のほか、感想等

他の受講生の発表を聞くことで得られた気づきも多く、非常に充実した時間を得ることができた。サイエンスカンファレンスでしか得られなかった学びや発見も多く、こうした貴重な経験をすることができたことをとても嬉しく思う。ただ、他の受講生とのつながりをあまり持つことはできなかった点は少し心残りで、今後もまたこうした機会があれば、今回の反省を生かしてもっと積極的に繋がりを増やしていきたい。

(4) 後輩へのメッセージ

仲良くなれた人がいたら、その場で連絡先を交換するのがおすすめです。「次話した時でいいや」と思っていると、結局交換できなくなることも多いので気をつけてください！！